

<様式1>

令和3年度 さいたま市立大宮南中学校 自己評価書

校長 坂田 真澄 印

1 学校で設定した「令和3年度の目標」及び関係する「評価項目」について

- (1) 基礎的・基本的な内容の着実な定着・向上をめざした授業の工夫改善。
- (2) きめ細かな指導をととした信頼関係に基づく教育相談・いじめ防止に向けた組織的な取組の積極的な推進。
- (3) 多様な教育的ニーズを踏まえた教育の推進。
- (4) 安全・安心で心潤う教育環境づくり及び保護者・地域との連携・協力の推進。
- (5) 教職員の業務改善に向けた意識向上、分掌・分担等の均等化等による業務改善及び業務の効率化の推進。

2 評価結果について

- (1) 教職員の授業改善により、良い授業のアンケートでは、基礎アップでほぼ全ての教員が目標値を上回っている。また、本校独自の3教科の検定実施等の取組等あわせて、「学力が向上している」と肯定的な評価の生徒は80%、また「授業に積極的に取り組んでいる」「分かりやすい授業」の肯定的評価は90%、97%となっている。教員の授業の工夫改善と、生徒の意欲的な授業参加の結果、基礎学力の定着・向上が達成できたと評価できる。また、G・SについてはALTとの連携を深めるとともに、すべての教育活動でICT機器の活用を進めた。潤いの時間については、新型コロナウイルス感染症予防として、活動方法等を工夫しながら、実施することができた。次年度は、ICT活用授業の一層の工夫やSTEAMS教育(STEAMS-TIME等)やSDGs教育への取り組みが課題となる。
- (2) 心と生活のアンケートの事後対応や教育相談の積極的な実施、家庭・保護者との細かな連絡と連携、教育相談・特別支援体制の組織的な運営により、「一人ひとりを大切にした指導」、「教員と生徒との関係が良好」、「いじめ撲滅に積極的に取り組んでいる」への肯定的な評価は生徒90%、92%、91%、保護者74%、91%、88%という評価になっていることから、ほぼ達成できたと評価できる。今後も、生徒への指導や対応について引き続き課題として取り組んでいく。
- (3) 定期的な安全点検の着実な実施、日常の点検による不具合・危険個所の速やかな報告、処置の実施及び地域と連携した環境整備等により「安心・安全」、「環境美化に努めている」への肯定的評価は、生徒96%、93%、保護者97%、94%と高く、目標を達成できたと評価できる。今後も新型コロナウイルス感染症対策も含め継続していく。また、日常生活でも保護者への連絡を密にして情報共有を図り、新型コロナウイルス感染症への対応も考慮し、学校だより・学校WEBページ・学校安心メール等可能な手段で情報発信を行った。「学校の様子を積極的に知らせている」の肯定的評価は生徒83%、保護者82%となっているため、一定の取組ができたとは評価できる。今後も可能な手段や方法等を検討・実行していく。さらに、令和4年度スタートのコミュニティースクール運営を円滑に行っていく。
- (4) 部活OFF日の設定、月例在校時間調査結果からの面接等により、教職員の平均在校時間は、昨年度よりマイナス14%、また、「学校業務改善は適切におこなわれている」の教職員の肯定的評価は99%であり、一定の成果をあげたと評価できる。次年度もさらに改善を継続していく。

3 次年度に向けた具体的な改善策について

- (1) PDCAサイクルを生かした授業改善の継続と教科会等による指導法の研究を推進する。
- (2) 研修による教育相談手法の向上と、生徒指導部・教育相談部等の組織体制を見直し、改善を進め、生徒理解を深めるとともに、安心安全のさらなる向上を図る。
- (3) 保護者・地域のニーズ把握に努め、連携をさらに深めることにより地域の活動に積極参加を促すなどして地域と一体となった開かれた学校づくりを行う。
- (4) さらに業務の均等化と教職員の意識改革を図る。

※ A4判1枚程度に簡潔にまとめる。教育委員会に写しを提出する。